観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和 7 年　7 月　20 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）信州いいやま観光局	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 長野県中野市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村、新潟県妙高市（以下「信越自然郷エリア」という。）	
所在地	長野県飯山市大字飯山１１１０－１	
設立時期	平成２２年４月１日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの１年間	
職員数	97 人【うち DMO 担当部署（飯山駅観光交流センター,営業企画課,広報室）16 人	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 伊東　ゆかり （出身組織名） 飯山市	(一社)信州いいやま観光局理事長　及び　飯山市副市長 観光振興、物産振興、観光施設運営・管理等において経営・マネジメントを行っている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	(氏名) 大西　宏志　「専従」 (出身組織名) (一社)信州いいやま観光局　事務局長	(一社)信州いいやま観光局　事務局長。 R2 年度まで信越 9 市町村広域観光連携会議事務局として、事業者とのネットワークを持ち、これまでの各種事業における広域連携軸の構築、運営、調整を行う中での現場感覚と、各種データ、収集結果を合わせた分析を行うなど、主導的に事業を展開。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	(氏名) 大西　宏志　「専従」 (出身組織名) (一社)信州いいやま観光局 事務局長	同上。兼務 持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する活動を実施する。
プロモーションの責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること	(氏名) 浅野　慧　「専従」 (出身組織名) (一社)信州いいやま観光局 飯山駅観光交流センター所長	(一社)信州いいやま観光局で 10 年勤務。信越自然郷の拠点施設である、飯山駅観光交流センター所長。地域事業者とのネットワークを持ち、信越自然郷の広域観光の情報発信、地域の主要コンテンツである、自転車やスキー等のアウトドアアクティビティ全般の事業プロモーションのノウハウを持っている。

様式１

<table>
<tr><td>各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）</td><td>（氏名）
柴田さほり　「専従」
（出身組織名）
（一社）信州いいやま観光局　事務局次長</td><td>（一社）信州いいやま観光局で 14 年勤務。事務局次長（兼）インバウンド推進室長。前職は JTB グローバルマーケティング&トラベル。国内外旅行エージェントとのネットワークを持ち、海外営業の担当者でもある。また、地域内においても着地型旅行商品の造成、磨き上げの中心である。</td></tr>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td colspan="2">長野県観光スポーツ部（財政支援　事業実施支援）
長野県北信地域振興局（財政支援　区域内市町村間調整）
区域内市町村観光担当部局（財政支援　事業実施支援）</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td colspan="2">信越 9 市町村広域観光連携会議会員（別紙１のとおり）
観光団体（広域旅行商品造成　観光情報提供受発信　イベント開催　プロモーション　キャンペーン）
商工団体（地域連携の協議　特産品ＰＲ　イベント開催）
農業団体（郷土食提供発信　特産品ＰＲ）
交通事業者（共通チケット開発　観光列車　２次交通整備　誘客　プロモーション）</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td colspan="2">行政、観光、商工、農業、交通、報道の各関係団体（63 団体）が加盟する信越９市町村広域観光連携会議を平成 24 年 1 月に設立。広域旅行商品開発、プロモーション、ＰＲイベント等事業実施。会議に役員会、幹事会、事業部会を設置。幹事会、事業部会を開催し、連携会議事業について協議。</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td colspan="2">宿泊事業者向け、市民ガイド育成研修、行政、各観光協会と連携した観光事業を通じた研修や意見交換の場づくりに取組む。また住民向けに隣接する観光圏と連携した観光地域づくり意識醸成を促す交流会の開催。地域向けに講演会やトークイベントの開催を実施している。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td colspan="2">【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>◆海外プロモーション
＜平成 27 年度事業　市町村事業受託＞
・Visit Japan Asia Travel Mart2015 出展
＜平成 28、29 年度農山漁村振興交付金事業＞
・Visit Japan Travel & Mice Mart 出展
・JNTO 主催商談会出展（AUS、NZ）
＜平成 28 年度事業　市町村事業受託＞
・Snow Travel Expo 2016 出展（オーストラリア）
＜平成 29 年度事業　市町村事業受託＞
・エージェント、メディアトリップの実施（イギリス、オーストラリア、シンガポール等）
・オーストラリア教員旅行下見
＜平成 30、令和元年度農山漁村振興交付金事業＞
・Visit Japan Travel & Mice Mart 出展
・インバウンドアンケート調査
＜令和元年度事業　市町村事業受託＞
・海外営業（イギリス、オランダ、フランス、オーストラリア、香港、カナダ）
・エージェント、メディアトリップの実施（信越トレイル：Inside Japan Tours 等）
＜令和 2 年度事業＞
訪日外国人旅行者周遊促進事業：英語 HP 改修</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

		＜令和 3 年度事業＞ ・長野県観光振興地域協働事業：信越自然郷デジタルマーケティング体制構築推進 ・長野県地域発元気づくり支援金活用事業 　サイクルツーリズム情報発信、キャンペーン「＃信越ペダル」の PR 実施 ＜令和 4 年度事業＞ ・2/11 JNTO ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ 県観光機構ｵﾝﾗｲﾝ配信（かまくら村） ・3/9-10 JNTO ﾛｻﾝｾﾞﾙｽ事務所 AT ｵﾝﾗｲﾝ商談会 ・ツーリズム EXPO ジャパン（東京ビックサイト）クラブツーリズム(株)ブース×信越自然郷のサイクルツーリズム情報発信事業委託先：日本サイクリングネットワーク ＜令和 5 年度事業＞ ・11/10JNTO/WONDER AROUND JAPAN 商談会（米国・カナダ） ・JNTO/フランクフルト事務所メディア取材ほか海外メディア取材受入れ、インフルエンサーの招聘 ＜令和 6 年度事業＞ ・9/5　JNTO 振興フォーラム　（東京） ・JNTO/Japan Tourism Topic　への記事掲載 ・JNTO/PR 支援　12 月 マニラ、カナダ、イタリア ◆誘客宣伝事業 ＜平成 27 年～平成 31 年度信越 9 市町村広域観光連携会議事業、長野県補助金事業等＞ ・北陸新幹線飯山駅開業前及び開業後の信越自然郷内観光協会及び関係地域と連携した誘客宣伝活動、営業活動 ・学習旅行・インバウンド、各種イベントへの誘客営業活動 ＜令和 4 年度事業＞ 国内最大自転車 EXPO「CYCLE MODE TOKYO 2023」出展 4 月（入場者数 20,152 人）「CYCLE MODE RIDE OSAKA 2023 出展 3 月（入場者数 13,949 人） ＜令和 5 年度事業＞ 国内最大自転車 EXPO「CYCLE MODE TOKYO 2024」出展 4 月（入場者数 23,797 人）「CYCLE MODE RIDE OSAKA 2024 出展 3 月（入場者数 13,614 人） ＜令和 6 年度事業＞ 国内最大自転車 EXPO「CYCLE MODE TOKYO 2025」出展 4 月（入場者数 21,823 人）「CYCLE MODE RIDE OSAKA 2025 出展 3 月（入場者数 13,614 人） 7 月 欧州最大自転車 EXPO「EURO　BIKE 2024」海外地域へ初出展（会場：ドイツ/フランクフルト）信越自然郷エリアのサイクルツーリズムのプロモーション実施 ◆ブランド構築・販売促進活動の強化 ＜平成 27 年～平成 31 年度信越 9 市町村広域観光連携会議事業、長野県補助金事業等＞ ・インターネット活用、SNS 活用、マスコミ対応、広告宣伝など効果ある情報発信

		・関係機関・団体との連携による首都圏、北陸圏、関西圏を重点とした発信及びブランド力向上を目指した戦略的なイメージ浸透、広報活動 ＜令和 4 年度事業＞ 広域ツアー飯山駅発着料金助成 旅行会社 2 社商品助成実施 ・クラブツーリズム㈱ 飯山市サイクリング＋温泉２日間 期間 9 月 25 日～9 月 26 日 助成決定人数 9 名 ・クラブツーリズム㈱ 名湯「野沢温泉・草津温泉」夫婦旅 3 日間　期間 7 月 26 日～11 月 29 日 助成申請人員 300 名 ・㈱JTB メディアリテーリング 野沢温泉ゆったり滞在４日間　期間 10 月 11 日～11 月 28 日 助成申請人員 160 名 ＜令和 5 年度事業＞ 広域ツアー飯山駅発着料金助成 旅行会社１社２商品の助成申請実施 ・㈱JTB エスコート商品販売事業部 野沢温泉ゆったり滞在 期間 9 月 24 日～11 月 19 日 ＜令和 6 年度事業＞ 広域ツアー飯山駅発着料金助成 旅行会社１社 1 商品の助成申請実施 ・㈱そらまめキッズツアー 斑尾ジップライン＆ボブスレー満喫ツアー　期間 8 月 6 日～8 月 9 日
	受入環境の整備	◆外国人旅行者受入環境整備の促進 ＜平成 27 年～平成 31 年度信越 9 市町村広域観光連携会議事業、長野県補助金事業等＞ ・周辺市町村や関係団体と連携した観光資源の磨き上げ、情報発信、地域住民や観光事業者の意識醸成 ・マーケティングに基づいたターゲッティングや戦略の検討 ＜平成 27～31 年度飯山中心市街地地区都市再生整備事業＞ ・市街地のより回遊性ある、滞在時間の延長させるための仕組みづくり及び行政、関係事業者と連携した観光客が歩きたくなるようなまちづくり ＜平成 30、令和元年度農山漁村振興交付金事業＞ ・かまくらレストラン販売サイト構築 ＜令和 3 年度新たなインバウンド層の誘致のためのコンテンツ強化・地域資源磨き上げ事業間接補助金＞ 自転車環境の整備（E-bike 導入等） ＜令和 3 年度　地域再生計画・地方創生推進交付金＞ 「信越自然郷　自転車活用による観光地域づくり計画」 受入環境整備（E-biKe 導入サイクルステーション設置） ＜令和 4 年度事業＞ ・R4 観光庁看板商品事業「小菅山伏ツアー」商品造成 ・スキー場共通リフトクーポン「信越自然郷スーパーバリューチケット」海外販売用サイトの構築、商品販売の実施 ＜令和 5 年度事業＞ ・包括連携協定を締結したＫＮＴ－ＣＴ社との連携 ・サイクリングツアーによる海外富裕層のインバウンド推進等に係る協定を締結した一般財団法人日本サイクリングネットワークと連携 ＜令和 6 年度事業＞

		・飯山駅観光交流センター　冬季バス（斑尾高原線、竜王シャトル便等）の２次交通の受入れ整備 ・上越・糸魚川エリアとのサイクルツーリズム連携として自転車によるまちづくりシンポジウムへの参加
	観光資源の磨き上げ	＜令和元年度北陸信越運輸局訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業＞ ・サイクリング、雪チャリなど新コンテンツのモニターツアー新たなインバウンド層の誘致のためのコンテンツ強化・地域資源磨き上げ事業間接補助金 ◆日本のふるさと体感の旅づくり ＜平成 27 年～平成 31 年度信越９市町村広域観光連携会議事業、長野県補助金事業等＞ ・北陸新幹線飯山駅開業に向け、地域資源の掘り起こし、地域資源を活用した個人・小グループの多様な旅行ニーズに応える着地型旅行商品の造成、販売促進、受入体制の充実 ・単位観光協会等、宿泊事業者、直営施設、その他関係団体等と連携した、より質の高い、地域資源に磨きをかけた競争力のある商品造成及び満足度の高い受入、実施体制の整備 ・新幹線飯山駅で乗降する観光客の幅広いニーズに対応する、信越９市町村広域観光連携会議、当該構成市町村、交通事業者、関係部署と連携した広域的旅行商品の造成と販売 地域資源を活かした特産品の開発・販売 ・産学官の連携による地域資源を活かした競争力のある特産品の開発、販売促進 ＜令和３年度＞　地域再生計画・地方創生推進交付金「信越自然郷　自転車活用による観光地域づくり計画」 ・自転車活用旅行商品開発/広域旅行商品サイクルサポートバス活用ツアー企画/エリア内周遊バスツアー企画販売 ＜令和４年度事業＞ サイクルツアー有識者招聘によるエリア調査とファムトリップ実施　　米 Bicycle Adventures 社 Todd 氏招請によるエリア視察/商品造成ファムトリップを実施 ９月 17 日 第４回全国シクロサミット（南魚沼市）パネルディスカッションにて事例発表 ＜令和５年度事業＞ ・観光庁事業「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」を活用した、ノンスキーヤー向け広域スキーエリア連携ツアー造成 ・9/24 米国バイシクルアドベンチャー社 信越・能登ツアー参加７名 信越自然郷エリア（飯山/妙高/野沢/志賀）コースにて実施。 ＜令和６年度事業＞ ・斑尾高原/飯山駅発着スノーモンキーツアー企画販売。斑尾高原観光協会と連携しインバウント滞在者向けツアー販売。1/7,9,13,16,20 合計利用者：84 名 ・米国バイシクルアドベンチャー社 信越・北陸ツアー 参加８名 信越自然郷エリア（飯山/妙高/野沢/志賀）コースにて実施。

様式１

	人材教育	＜令和元年度北陸信越運輸局訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業＞ ・訪日外国人向けガイド講習会 ＜平成 28、29 年度農山漁村振興交付金事業＞ ・専門家によるセミナー、ワークショップの開催 ・先進地視察（岐阜県古川・SATOYAMA EXPERIENCE） ＜平成 30、令和元年度農山漁村振興交付金事業＞ ・先進地視察（熊野ツーリズムビューロー） ・信越トレイル、外国人ガイドによるワークショップ ＜令和 2 年度専門家派遣事業＞ ・観光事業者リスクマネジメント講習会 ＜令和 3 年度　観光庁インバウンド対応能力強化研修＞ ・講習会の実施 ＜令和 3 年度「世界に誇る観光地を形成するための DMO 体制整備事業」の３次募集（中核人材の育成）＞ ・グロービスオンライン講義の受講 ＜令和 4 年度事業＞ ・カナダ観光局　半藤氏による「観光の力」セミナー実施 ・サイクルガイド向け商品造成研修の実施 インバウンドに訴求できるツアー造成に向けた北陸エリアガイド事業者との連携、ガイド育成、サイクルツアーサポート体制の研修を実施。 ＜令和 5 年度事業＞ ・カナダ観光局　半藤氏によるワークショップの開催 ・英会話研修、ワークショップの定期開催 ＜令和 6 年度事業＞ ・カナダ観光局　半藤氏によるインバウンド推進協議会への専門人材によるコンサルティングの実施

【定量的な評価】

	単位	R2	R3	R4	R5	R6
旅行商品販売額	千円	3,305	8,588	12,868	15,378	26,296
ホームページビュー数	万件	64	90	73	77	82
学習旅行受入学校数	校	2	3	9	17	20

様式１

施設利用実績（飯山駅観光案内所）

観光交流センター　来訪者数

（単位:人）

部門	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	累計前年比
案内所（日本人）	H26	－	－	－	－	－	－	－	4,410	2,125	2,525	3,997	9,814	22,871	－
	H27	5,953	6,649	4,657	4,839	6,253	4,946	4,607	4,695	3,665	4,975	4,965	5,035	61,239	－
	H28	3,344	4,259	3,131	3,180	4,388	3,523	4,297	4,098	3,539	4,684	4,377	4,483	47,303	77.2%
	H29	3,057	4,062	2,709	3,165	4,335	3,317	3,235	3,231	3,070	4,409	4,002	3,399	41,991	88.8%
	H30	2,516	3,219	2,744	2,991	3,664	2,936	3,291	2,761	3,304	4,298	4,368	3,551	39,643	94.4%
	H31(R1)	2,557	2,954	2,120	2,561	3,386	2,293	1,631	1,964	2,012	3,056	3,539	1,842	29,915	75.5%
	R2	331	308	739	1,233	1,667	1,466	1,980	1,792	1,972	1,903	2,374	1,857	17,622	58.9%
	R3	1,200	1,351	1,040	1,644	1,842	1,255	2,410	2,098	2,199	3,001	2,280	2,334	22,654	128.6%
	R4	1,401	2,163	1,561	1,891	2,268	2,193	2,088	1,888	2,068	2,816	3,208	2,709	26,254	115.9%
	R5	1,345	1,700	1,683	2,046	3,003	1,827	2,494	1,692	1,624	2,098	2,526	2,352	24,390	92.9%
	R6	1,227	1,731	1,436	1,574	2,404	1,922	1,709	1,811	1,702	2,431	2,366	2,468	22,781	93.4%
	単月前年比	91.2%	101.8%	85.3%	76.9%	80.1%	105.2%	68.5%	107.0%	104.8%	115.9%	93.7%	104.9%	93.4%	
	対H31年比	48.0%	58.6%	67.7%	61.5%	71.0%	83.8%	104.8%	92.2%	84.6%	79.5%	66.9%	134.0%	76.2%	

2022.1/14-3/6 時短営業

部門	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	累計前年比
案内所（外国人）	H26	－	－	－	－	－	－	－	6	65	113	205	123	512	－
	H27	85	35	27	37	68	80	77	76	1,177	2,108	2,228	894	6,892	－
	H28	214	81	53	39	68	43	82	87	1,110	2,402	1,947	1,044	7,170	104.0%
	H29	374	123	120	129	80	47	98	177	1,496	3,697	3,008	1,340	10,689	149.1%
	H30	340	95	77	104	104	107	224	139	1,953	3,441	3,489	1,285	11,358	106.3%
	H31(R1)	342	132	108	76	139	78	144	88	1,459	3,390	2,404	577	8,937	78.7%
	R2	6	6	1	12	15	7	20	13	108	120	260	45	613	6.9%
	R3	14	11	10	13	15	9	4	9	97	148	187	134	651	106.2%
	R4	19	17	9	18	45	11	64	84	760	1,675	1,432	563	4,697	721.5%
	R5	307	103	96	149	91	98	188	119	1,408	2,423	2,194	969	8,145	173.4%
	R6	183	98	80	104	208	122	225	163	1,702	3,378	3,154	2,035	11,452	140.6%
	単月前年比	59.6%	95.1%	83.3%	69.8%	228.6%	124.5%	119.7%	137.0%	120.9%	139.4%	143.8%	210.0%	140.6%	
	対H31年比	53.5%	74.2%	74.1%	136.8%	149.6%	156.4%	156.3%	185.2%	116.7%	99.6%	131.2%	352.7%	128.1%	

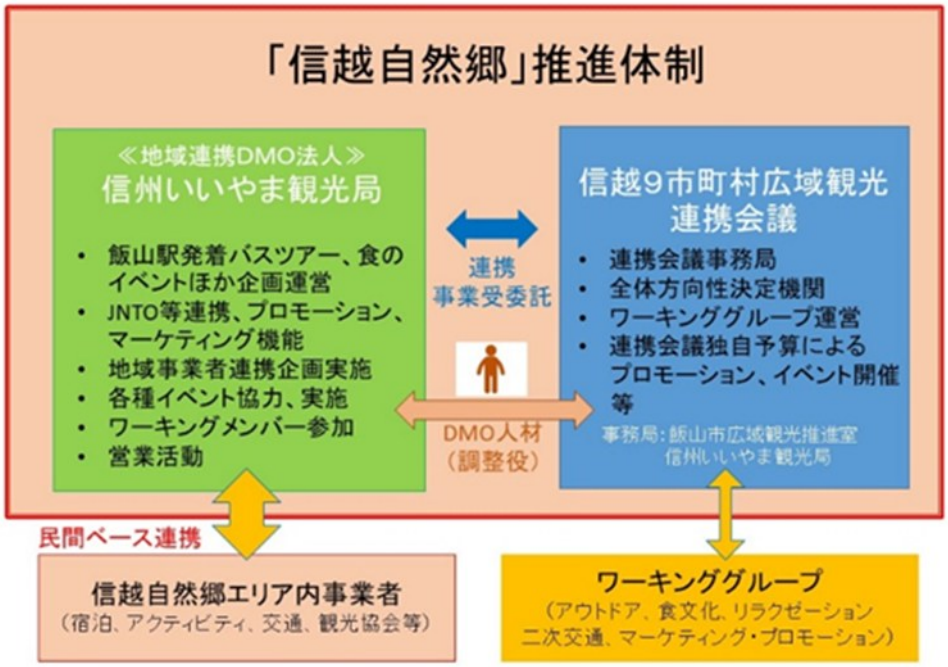
部門	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	累計前年比
案内所（計）	H26	－	－	－	－	－	－	－	4,416	2,190	2,638	4,202	9,937	23,383	－
	H27	6,038	6,684	4,684	4,876	6,321	5,026	4,684	4,771	4,842	7,083	7,193	5,929	68,131	－
	H28	3,558	4,340	3,184	3,219	4,456	3,566	4,379	4,185	4,649	7,086	6,324	5,527	54,473	80.0%
	H29	3,431	4,185	2,829	3,294	4,415	3,364	3,333	3,408	4,566	8,106	7,010	4,739	52,680	96.7%
	H30	2,856	3,314	2,821	3,095	3,768	3,043	3,515	2,900	5,257	7,739	7,857	4,836	51,001	96.8%
	H31(R1)	2,899	3,086	2,228	2,637	3,525	2,371	1,775	2,052	3,471	6,446	5,943	2,419	38,852	76.2%
	R2	337	314	740	1,245	1,682	1,473	2,000	1,805	2,080	2,023	2,634	1,902	18,235	46.9%
	R3	1,214	1,362	1,050	1,657	1,857	1,264	2,414	2,107	2,296	3,149	2,467	2,468	23,305	127.8%
	R4	1,420	2,180	1,570	1,909	2,313	2,204	2,152	1,972	2,828	4,491	4,640	3,272	30,951	132.8%
	R5	1,652	1,803	1,779	2,195	3,094	1,925	2,682	1,811	3,032	4,521	4,720	3,321	32,535	105.1%
	R6	1,410	1,829	1,516	1,678	2,612	2,044	1,934	1,974	3,404	5,809	5,520	4,503	34,233	105.2%
	単月前年比	85.4%	101.4%	85.2%	76.4%	84.4%	106.2%	72.1%	109.0%	112.3%	128.5%	116.9%	135.6%	105.2%	
	対H31年比	48.6%	59.3%	68.0%	63.6%	74.1%	86.2%	109.0%	96.2%	98.1%	90.1%	92.9%	186.2%	88.1%	

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

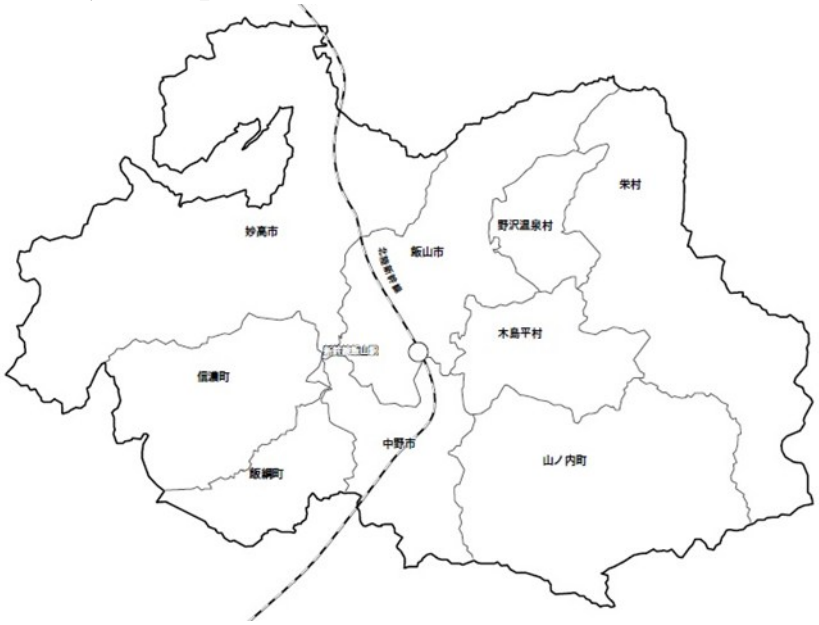
（一社）信州いいやま観光局に広域観光部局を設置し、ＤＭＯ機能を担う。
事業を推進するにあたっては、飯山駅観光交流センター（信越自然郷飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンター）を中心に、区域内各市町村の観光団体、商工団体、農業団体及び行政の実務担当者で組織する信越９市町村広域観光連携会議事業部会と連携し、または一体となって行う。
事業を進める上での合意形成については、信越９市町村広域観光連携会議の事業部会、幹事会、役員会、総会の中で協議をし、決定をしていく仕組みとなっている。信州いいやま観光局は、信越９市町村広域観光連携会議事務局業務も担っており、全体の意見の取りまとめ、事業計画や予算の策定にも関わっている。

【実施体制図】



２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成 24 年１月に区域を構成する地方公共団体で信越９市町村広域観光連携会議を設立、同年８月に行政、観光、商工、農業、交通、報道の各関係団体（63 団体）による組織に拡大し、顧客視点に立ち、旅行商品の開発、周遊パスの企画、プロモーション、イベント開催など連携した取組みを実施。また、観光資源、文化、自然風土の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

信越自然郷エリア（9 市町村）の年間観光来訪者数約 1,100 万人と増加傾向にあるが、延べ宿泊者数のうち冬季シーズンに占める割合が高く、特に訪日外国人延宿泊者数が 40 万人を超え、冬期スキーシーズンの長期滞在が宿泊に占める割合が高まっている。一方で、国内旅行者が一年を通じて減少傾向にあり、全体的な来訪者数では、冬季と夏季シーズンの観光客入込みの差が大きくなってきている。また地域によるインバウンド来訪の差が大きいなどの課題もある。

観光来訪者数は増加傾向にあるが、宿泊施設をはじめ観光事業に従事者の高齢化や後継者不足、インバウント受入整備によるベッド数の総数が減っており、既に１，２月のピーク期間は収容の限界にある。このため、地域全体の観光消費額の増加に向けては、エリア全体の共通課題であるグリーン期の誘客、観光コンテンツの創出、プロモーションが必要であること、また質の高いサービス提供による消費額の単価向上を目指す必要がある。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

資料１のとおり

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

◇域内分布　信越自然郷エリア全域

◇宿泊施設数　723 施設※9 市町村全体の数字

◇施設規模（総定員数）　27,860 人※飯綱町を除く 8 市町村の数字

【利便性：区域までの交通、域内交通】

信越自然郷エリアの中心に位置する北陸新幹線「飯山駅」を玄関口に、首都圏はじめ成田空港、羽田空港、からのアクセスが良い。また北陸新幹線が敦賀駅まで延伸（令和 6 年 3 月）により、北陸圏、関西圏からのアクセスがさらに向上し、関西圏、富山空港からのアクセスも向上した。長野駅、上越妙高駅からもしなの鉄道、長野電鉄、えちごトキめき鉄道により、また、栄村エリアへは上越新幹線からアクセスが可能である。

２次交通については、新幹線飯山駅より、信越自然郷エリア内観光地へのバス運行の増便等がされているが、冬季はバス、タクシーの台数不足が発生している。継続して関係市町村、交通事業と連携・調整をとり、拡充を図る。

高速道路網については上信越自動車道がエリア内を走っており、信州中野、豊田飯山、信濃町、妙高高原、新井 PA の５つのＩＣから区域内への出入りができ、首都圏、中京圏、北陸圏、関西圏からのアクセスも可能である。

【外国人観光客への対応】

北陸新幹線飯山駅に併設されている信越自然郷飯山駅観光案内所は、日本政府観光局認定外国人観光案内所カテゴリー２に登録、認定され、広域観光の情報発信や宿泊手配、観光案内等のサービスを実施している。

信越自然郷飯山駅観光案内所を含む飯山駅観光交流センター及び飯山駅高架下の信越自然郷アクティビティセンターには無料公衆無線ＬＡＮ環境、路線バス時刻表のデジタルサイネージ設置、JR 東日本管内新幹線運行情報デジタルモニター設置等により、外国人旅行者の利便性の向上を図っている。

情報発信においては、信越自然郷ＨＰ、観光パンフレット、マップ等の多元化を図っている。

また、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	長野県観光統計及び新潟県妙高市の観光統計よりデータ収集
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	各自治体の統計を活用して実施。
来訪者満足度	旅行・観光施策の基礎資料	観光入込客統計の全国共通基準パラメーター調査等を活用（長野県）
リピーター率	旅行・観光施策の基礎資料	観光入込客統計の全国共通基準パラメーター調査等を活用（長野県）
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	グーグルアナリティクスを活用
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施。

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

信越自然郷 9 市町村エリアでは人口減少が進んでおり、就業者数の多い農林水産業および観光業においても高齢化等の影響で就業者や事業所が減少傾向にある。冬季シーズンはインバウンド来訪者の増加を背景に、観光入込客数は回復傾向にあるが、観光施設や宿泊施設への設備投資は一部の施設のみで限定的であり、地域全体での施設数の減少により受入可能な収容人数や、消費額の減少に繋がっている。観光入込客数について季節性が高いことから通年での安定的な人材雇用、事業展開のハードルが高い、また、自然災害（地震、台風等）、気候変動（少雪等）などの影響を受けやすい自然環境である。こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、社会の変化に対応した観光施策の策定や新たな雇用の創出、担い手不足の解消、交流人口の増加に繋げる事業の推進を行う。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** 〇雪国の風土文化が共通したひとつの文化圏 〇２つの国立高原、日本一の大河信濃川（千曲川）等の豊かな自然環境 〇多様なウィンターリゾートが集積（エリア内スキー場数 38） 〇温泉や山岳高原をベースとしたマウンテンリゾートがエリアに点在 〇北陸新幹線（東京～金沢～敦賀）のアクセスの良さ、ゴールデンルート途中での立寄り可能 〇先進的なロングトレイルへの取組み	**弱み（Weaknesses）** 〇冬季の繁忙期と閑散期、平日と休日の客数に偏りがある。 〇主要交通拠点（新幹線飯山駅）からの２次交通（バス、タクシー等の不足） 〇中山間地域等における交通アクセスの脆弱さ 〇需要に合わせた人材の確保（通年雇用、繁忙期の人手不足） 〇冬季以外でエリアの認知度、知名度が低い
外部環境	**機会（Opportunity）** 〇北陸新幹線の敦賀延伸開業（関西/北陸方面の市場拡大） 〇インバウント来訪客の増加、スキーリゾート需要の増加 〇日本ならではの旅/体験を求める旅行ニーズ 〇長期滞在の旅のスタイルへの変化 〇自然体験、健康・癒し志向の高まり	**脅威（Threat）** 〇観光資源や地域環境を支える地域社会の過疎化、高齢化 〇国内旅行者の減少、国内スキー人口の減少 〇スキーリゾート/宿泊施設の老朽化 〇気候変動や温暖化による雪不足 〇観光地間の競争激化

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層

アウトドアアクティビティの志向の高い若年から中年層

〇選定の理由

信越自然郷は、上信越高原国立公園、妙高戸隠連山国立公園にまたがり、中央に日本一の大河千曲川（信濃川）が流れるエリアであり、エリアが持つ自然風土の特徴は、次のとおりである。

①山岳高原の景観や地形

西に妙高高原、黒姫高原、東に志賀高原といったアジア有数の大規模な山岳高原の広がりから生まれる特徴的な山岳高原の景観や火山地形と温泉群

②恵み豊かな森林地帯

広大な面積を占める森林地帯で育まれる、澄んだ水と空気、多様な生態系、悠久の時を重ねたブナの原生林など、古くから本エリアの暮らしに恵みを与えてきた森林資源

③雄大な千曲川と自然豊かな野尻湖などの湖沼群

エリアの中央を南北に貫く日本最大の河川・千曲川の雄大な姿や、川沿いに広がる景観、川水による灌漑、川や湖を使ってできる様々なウォーターレジャーなど

④雪の生み出す恵み

全国屈指の豪雪によってもたらされる、高い雪質を利用した上質のスノーレジャー、白銀の美しい景観、野山を潤す豊富で清純な雪解け水など

上記の信越自然郷エリアの四季折々の姿を魅せる自然風土は、初心者から上級者まで楽しめるアウトドアアクティビティのステージである。既に、このフィールドにおいて冬期を中心に四季を通じてアウトドアアクティビティを志向する、若年から中年層の来訪者が大部分を占めており、今後も当エリアの中心的利用者像になる事が期待されていることから第１のターゲットとする。

〇取組方針

信越自然郷エリアのアウトドアアクティビティの案内や情報発信を、新幹線飯山駅高架下に設置した信越自然郷アクティビティセンターにおいてワンスストップで行う。アクティビティセンターでは関係事業者と連携した体験プランや旅行商品造成を行う。

信越自然郷アクティビティセンターの登録事業者のデータベース化、ネットワーク化を進め、来訪者にストレスのない環境を整える。また、アウトドアメーカーとの連携を図り、アウトドアメーカーの持つノウハウや発信力を活用した戦略的なプロモーションを実施する。

〇ターゲット層

外国人観光客

〇選定の理由

多種多彩な温泉、雪質の良いスキー場に加え人気のスノーモンキーなど信越自然郷エリア内の観光資源により、来訪外国人観光客数は、ウィンターシーズンを中心に年々増加しているが、グリーンシーズンにおいてはこのエリアは、国内、県内において他地域の遅れをとっている。

自然を活かしたアドベンチャーツーリズムを嗜好するアクティブ層の来訪が多いことから、ウィンターシーズンはもとより、グリーンシーズンの外国人観光客の中でも、自然体験や歴史文化等の風土に興味のあるターゲットとする。

〇取組方針

信越自然郷エリアのもつ自然風土、文化は、豪雪など厳しい自然との共生の中で生まれたものであり、日本の原風景を感じさせる、古来の里山生活文化であり、歴史的に受け継いできたものである。この地域の魅力や観光資源等情報発信の強化を図る。

また、Ｗｉｆｉ環境やホスピタリティの向上など外国人観光客の受入体制の整備も急務であり、施設や事業者において、行政や信越９市町村連携会議と連携し、ソフト・ハードそれぞれの整備を進める。

○ターゲット層 保養・休養を目的とする家族または夫婦、友人での旅行を志向する層
○選定の理由 信越自然郷をエリアとしたマーケティング調査結果から、「この地域は来訪者意識の中では保養休養型の観光地となっており、こうした傾向をもった観光地は全国的に見ても少なく、特異なポジションとなっている」とされている。 保養休養型を支える魅力は、「温泉」と「自然の中での体験」の２つである。温泉は多くの観光地でも大きな魅力となっており、特に信越自然郷エリアでは高い傾向にある。また、このエリアでは「自然景観を見る」よりも「体験」の方が高率となっている。 このようなことから、保養休養型を目的とする旅行を志向する層をターゲットとする。 ○取組方針 　アウトドアアクティビティとともに信越自然郷エリアが提供すべき価値として掲げる、このエリアの自然風土、文化から生まれた「食」、「リラクゼーション（保養・休養）」。この価値を来訪者が、ハイキング、トレイル、サイクリング、カヌー等のアクティビティを楽しみながら、目的地間を移動し、移動行動自体を楽しむ旅行スタイルの中で体験できるプログラムづくり、旅行商品化を、それぞれの価値を提供できる事業者と連携しながら進める。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	『千年風土の豊穣の地』
②コンセプトの考え方	このエリアには豊かな水脈と山系に囲まれた肥沃な大地があり、縄文時代の昔から人々は豪雪や厳しい寒暖差をものともせず、自然に寄り添った特徴的な文化を創り上げてきました。「信越自然郷」とは、単純に隣接する市町村が連携したものではなく、共通した風土と文化を持つひとつの文化圏です。この文化圏が、来訪者に提供できる価値の源となり、経済効果を生み出すものであると考えます。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	(一社)信州いいやま観光局が中心となり、信越９市町村広域観光連携会議やエリア内の関係機関の他、JNTO や長野県/関東エリア等の広域連携 DMO と連携し、事業計画や実施状況の意見交換や情報共有、また事業連携について実施する。 信越９市町村広域観光連携会議事業部会との定例会議を年３－４回程度実施し、四半期毎に状況共有が進捗確認を行っている。 年１回の総会にて、活動の意義、内容、成果など取り組み状況を記載した事業報告書/事業計画を作成し、説明を行うとともに、関係者への周知と承認を得ている。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	(一社)信州いいやま観光局 DMO を中心に、宿泊事業者向け英会話教室、ガイド育成研修、エリア内インフォメーション施設同士の情報交換会を実施。行政、各観光協会へも各種研修実施の情報提供を行い、参加を呼び掛けている。また、インバウンド推進協議会などからサービスへのフィードバックや先進事例の紹介を行っている。

観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	信越自然郷飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンターにおいて、DMO 域内の民間事業者及び関係機関と連携し、一元的な観光案内（ワンストップ窓口）の運営。HP、SNS 等による情報発信、宿泊、アクティビティ・体験の手配等の情報発信の一元化を行っている。 DMO 域内の自治体を含めた官民一体となったプロモーションの実施。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	48,900	49,880	50,878	51,896	52,933	54,520
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	51,632	57,226	69,399			
		(-)	(-)	(-)			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	6,260	6,260	6,390	6,518	6,648	7,312
		(330)	(396)	(436)	(480)	(528)	(580)
	実績	4,602	5,489	6,138			
		(-)	(400)	(432)			
●来訪者満足度（%）	目標	27.9	28.3	29.8	30.2	30.65	31.11
		(42.1)	(42.7)	(44.8)	(45.5)	(46.1)	(46.8)
	実績	25.5	26.8	27.9			
		(-)	(-)	(-)			
●リピーター率（%）	目標	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
		(30.8)	(31.3)	(31.8)	(32.2)	(32.7)	(33.2)
	実績	68.0	67.7	66.9			
		(-)	(-)	(-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

当エリアは、長野県の「世界水準の山岳高原観光地」づくりに向けた３つの重点支援地域に指定されていた経緯もあり、県と歩調を合わせながら事業推進をしていることから、長野県の目標におおよそ準じつつ地域の特性を反映する設定とした。

・・・

様式１

●飯山駅観光案内所（ワンストップ）窓口利用者数	目標	30,000 (4,500)	39,000 (9,000)	43,700 (10,000)	34,918 (12,000)	35,616 (12,600)	36,328 (13,230)
	実績	30,951 (4,697)	32,535 (8,145)	34,233 (11,452)			
●旅行商品参加者数	目標	1,250 (50)	1,500 (100)	1,680 (112)	1,880 (315)	2,105 (352)	2,358 (394)
	実績	789 (75)	929 (112)	1266 (282)			

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

平成 27 年北陸新幹線飯山駅開業後、信越自然郷エリアへの来訪者増への指標として、玄関口である飯山駅の利用者増が大きな目的の一つとなっている。また、信越自然郷の旅行消費額や滞在時間の延長を目的としたツアー商品の造成を行っており、参加者数も一つの指標とした。

【設定にあたっての考え方】

●飯山駅乗降客数

平成 27 年の新幹線開業以降は、飯山線と新幹線の乗降客数の合算値。新幹線は平成 27 年の日平均を 1,400 人と想定し、平成 30 年には計画目標人数（3,000 人）に到達したことから、平成 30 年度ベースに、年率 2%アップで設定していたが、コロナ以降と実績数値を大きく乖離がでてきており、R5 年度以降より、前年度比 105%で目標設定へ変更とした。

R5 年度は、新幹線駅利用 R4 年度比 117%、飯山線飯山駅 110%。冬期インバウンド来訪及びサイクルトレイン等の利用増加の影響もあり伸長した。R6 年度の乗車人員数については、JR 未公開（7 月～8 月予定）の為、情報公開後に記載とした。インバウンド客数の統計値ないため記載していない。

●飯山駅観光案内所利用者数

・日本人および外国人旅行者の観光案内所への来訪者数を利用。新幹線が開業した平成 27 年の実績を基に年 2%アップで設定していた。R6 年度以降について、基準値との乖離が大きくなったため、R6 年度の実績をベースとして修正し、年 2%アップにて数値修正を行った。

冬期スキーシーズンのインバウンド来訪の増加傾向の為、R6 以降はインバウンド来訪者数を 5%アップとして設定した。

●信越自然郷ツアー商品参加者数

・信越自然郷飯山駅観光案内所が主催するツアーへの参加者数及び信州いいやま観光局が主催する着地型旅行商品の参加者数を利用。R2 年度～R3 年度は新型コロナウイルスの影響により大きく落ち込み、R4 年度より徐々に回復、R5 年度は昨対比 17%アップの参加者数となった。冬季中心に増加するインバウント向けに新たな着地型ツアー商品造成等を実施しており利用が増加している。

R6 以降の目標値の設定については、宿泊者数と同等の 12%アップとした。

様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	134,759,000 円	【収益事業収入】 【受託事業収入】 【都道府県補助金】 【市町村補助金】 【負担金】 【その他】	73,922,000 円 57,747,000 円 0 円 0 円 0 円 3,090,000 円
2023（Ｒ５）年度	140,492,184 円	【収益事業収入】 【受託事業収入】 【都道府県補助金】 【市町村補助金】 【負担金】 【その他】	80,590,477 円 51,261,311 円 5,000,000 円 0 円 0 円 3,640,039 円
2024（Ｒ６）年度	161,669,160 円	【収益事業収入】 【受託事業収入】 【都道府県補助金】 【市町村補助金】 【負担金】 【その他】	97,721,219 円 60,467,594 円 円 円 円 3,480,347 円
2025（Ｒ７）年度	164,135,000 円	【収益事業収入】 【受託事業収入】 【都道府県補助金】 【市町村補助金】 【負担金】 【その他】	100,653,000 円 60,000,000 円 円 円 円 3,500,000 円
2026（Ｒ８）年度	167,172,000 円	【収益事業収入】 【受託事業収入】 【都道府県補助金】 【市町村補助金】 【負担金】 【その他】	103,672,000 円 60,000,000 円 円 円 円 3,500,000 円
2027（Ｒ９）年度	170,282,000 円	【収益事業収入】 【受託事業収入】 【都道府県補助金】 【市町村補助金】 【負担金】 【その他】	106,782,000 円 60,000,000 円 円 円 円 3,500,000 円

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	127,858,000 円	【アクティビティ事業】 56,763,000 円 【交流ホール事業】 9,438,000 円 【観光案内事業（旅行商品）】 6,461,000 円 【施設管理費】 43,929,000 円 【一般管理費】 11,267,000 円
2023（Ｒ５）年度	128,461,502 円	【アクティビティ事業】 62,034,290 円 【交流ホール事業】 10,019,583 円 【観光案内事業（旅行商品）】 12,659,896 円 【施設管理費】 38,036,743 円 【一般管理費】 5,710,990 円
2024（Ｒ６）年度	138,395,249 円	【アクティビティ事業】 59,078,759 円 【交流ホール事業】 11,320,228 円 【観光案内事業（旅行商品）】 12,899,587 円 【施設管理費】 48,832,829 円 【一般管理費】 6,263,846 円
2025（Ｒ７）年度	136,000,000 円	【アクティビティ事業】 66,000,000 円 【交流ホール事業】 12,000,000 円 【観光案内事業（旅行商品）】 13,500,000 円 【施設管理費】 38,000,000 円 【一般管理費】 6,500,000 円
2026（Ｒ８）年度	140,000,000 円	【アクティビティ事業】 68,000,000 円 【交流ホール事業】 12,500,000 円 【観光案内事業（旅行商品）】 14,000,000 円 【施設管理費】 38,000,000 円 【一般管理費】 7,500,000 円
2027（Ｒ９）年度	144,500,000 円	【アクティビティ事業】 70,000,000 円 【交流ホール事業】 13,000,000 円 【観光案内事業（旅行商品）】 14,500,000 円 【施設管理費】 39,000,000 円 【一般管理費】 8,000,000 円

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成･販売等の取組･方針を記載

① 着地型旅行商品の造成、販売促進
② 飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンターでの物販事業、レンタル収入増加
③ 宿泊税については、長野県にて導入を予定。ＤＭＯの運営安定化のための県、エリア内市町村からの支援を検討

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。
長野県、中野市、妙高市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村は、一般社団法人信州いいやま観光局を中野市、妙高市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村における地域連携ＤＭＯとして登録したいので一般社団法人信州いいやま観光局とともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

■地域 DMO（一社）妙高ツーリズムマネジメント
・信越 9 市町村広域観光連携会議にて、情報交換および事業の精査を行っている。
・信州いいやま観光局は、地域連携 DMO として、妙高ツーリズムマネジメントを含むエリアを広域でとらえ事業展開をすることで、それぞれの立場で事業展開を行っている。
■地域 DMO（一社）野沢温泉マウンテンリゾート観光局
・信越 9 市町村広域観光連携会議にて、情報交換および事業の精査を行っている。
・信州いいやま観光局は、地域連携 DMO として、野沢温泉村を含むエリアを広域でとらえ事業展開をすることで、それぞれの立場で事業展開を行っている。
■地域連携 DMO（一社）雪国観光圏
・長野県栄村は、雪国観光圏にも属するが、北陸新幹線飯山駅を起点とする動きに関しては、信州いいやま観光局（信越自然郷）の取組（バスツアー等）として実施をすることで顧客ニーズに対応することが可能となっている。
■都道府県 DMO（一社）長野県観光機構
・グリーン期におけるインバウンド関連のプロモーションは長野県観光機構と協働で行っている。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	浅野　慧
担当部署名（役職）	飯山駅観光交流センター(所長)
郵便番号	389-2253
所在地	長野県飯山市大字飯山 772-6
電話番号（直通）	0269-62-7000

ＦＡＸ番号	0269-62-7003
Ｅ－ｍａｉｌ	info@shinetsu-shizenkyo.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	長野県
担当者氏名	児玉　未来
担当部署名（役職）	山岳高原観光課観光地域づくり係
郵便番号	380-8570
所在地	長野県長野市大字南長野字幅下６９２の２
電話番号（直通）	026-235-7254（直通）
ＦＡＸ番号	026-235-7257
Ｅ－ｍａｉｌ	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

都道府県･市町村名	長野県
担当者氏名	小松 和喜
担当部署名（役職）	北信地域振興局商工観光課（課長）
郵便番号	383-8515
所在地	長野県中野市壁田９５５
電話番号（直通）	0269-23-0219（直通）
ＦＡＸ番号	0269-23-0256
Ｅ－ｍａｉｌ	hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp

都道府県･市町村名	妙高市
担当者氏名	松橋　守
担当部署名（役職）	観光商工課（課長）
郵便番号	944-8686
所在地	新潟県妙高市栄町５－１
電話番号（直通）	0255-74-0021（直通）
ＦＡＸ番号	0255-73-8206
Ｅ－ｍａｉｌ	hiroaki.tanaka@city.myoko.niigata.jp

都道府県･市町村名	山ノ内町
担当者氏名	田村　清志
担当部署名（役職）	経済振興課 経済振興係（課長）
郵便番号	381-0498

様式１

所在地	長野県山ノ内町平穏３３５２-１
電話番号（直通）	0269-33-1107（直通）
ＦＡＸ番号	0269-33-1104
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@town.yamanouchi.nagano.jp

都道府県･市町村名	信濃町
担当者氏名	佐藤　宏幸
担当部署名（役職）	産業観光課（課長）
郵便番号	389-1392
所在地	長野県信濃町柏原４２８
電話番号（直通）	0265-255-3114（直通）
ＦＡＸ番号	026-255-4470
Ｅ－ｍａｉｌ	syoukoukankou@town.shinanomachi.nagano.jp

都道府県･市町村名	飯綱町
担当者氏名	渋澤　陽一
担当部署名（役職）	産業観光課（課長）
郵便番号	389-1294
所在地	長野県飯綱町大字芋川１６０
電話番号（直通）	026-253-4765（直通）
ＦＡＸ番号	026-253-6869
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@town.iizuna.nagano.jp

都道府県･市町村名	木島平村
担当者氏名	本山　等
担当部署名（役職）	産業課 商工観光係（課長）
郵便番号	389-2392
所在地	長野県木島平村大字往郷９１４－６
電話番号（直通）	0269-82-3111（代表）
ＦＡＸ番号	0269-82-4121
Ｅ－ｍａｉｌ	shokan@vill.kijimadaira.lg.jp

都道府県･市町村名	野沢温泉村
担当者氏名	竹井　勝
担当部署名（役職）	観光産業課（課長）
郵便番号	389-2502
所在地	長野県野沢温泉村大字豊郷９８１７
電話番号（直通）	0269-85-3114（直通）

ＦＡＸ番号	0269-85-3803
Ｅ－ｍａｉｌ	masaru@vill.nozawaonsen.nagano.jp

都道府県･市町村名	栄村
担当者氏名	小林　幸宏
担当部署名（役職）	商工観光課（課長）
郵便番号	389-2792
所在地	長野県栄村大字北信２９０３
電話番号（直通）	0269-87-3333（直通）
ＦＡＸ番号	0269-87-2280
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@vill.sakae.nagano.jp

都道府県･市町村名	飯山市
担当者氏名	霜鳥 雄樹
担当部署名（役職）	商工観光課　広域観光係（広域観光係長）
郵便番号	389-2292
所在地	長野県飯山市大字飯山１１１０－１
電話番号（直通）	0269-62-3111（代表）
ＦＡＸ番号	0269-62-6221
Ｅ－ｍａｉｌ	kouikikankou@city.iiyama.nagano.jp

様式2

【地域連携DMO】 一般社団法人　信州いいやま観光局 （信越自然郷）

記入日： 令和　7年　7月　20日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
長野県 中野市、飯山市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、
野沢温泉村、栄村　／　新潟県 妙高市
【設立時期】 平成22年4月1日
【設立経緯】
北陸新幹線飯山駅を中心とし、周辺の9市町村と連携した広域観光エリア「信越自然郷」の事業を推進するため・・・①
【代表者】 伊東ゆかり
【マーケティング責任者（CMO）】 大西宏志
【財務責任者（CFO）】 大西宏志
【職員数】 97人　うち担当部局16人
【主な収入】161百万円（R6年度）：
指定管理収入・広域連携事業委託料60、収益事業97、その他4
【総支出】138百万円（R6年度）：
旅行商品事業13、ブランドづくり・情報発信事業70、一般/施設管理費55
【連携する主な事業者】
長野県 信越9市町村広域観光連携会議構成市町村
信越9市町村広域観光連携会議会員行政、観光、商工、
農業関係団体、交通事業者、報道関係

KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	48,900（－）	49,880（－）	50,878（－）	51,896（－）	52,933（－）	54,520（－）
	実績	51,632（－）	57,226（－）	69,399（－）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	6,260（330）	6,260（396）	6,390（436）	6,518（480）	6,648（528）	7,312（580）
	実績	4,602（－）	5,489（400）	61,38（432）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	27.9（42.1）	28.3（42.7）	29.8（44.8）	30.2（45.5）	30.6（46.1）	31.1（46.8）
	実績	25.5（－）	26.8（－）	27.9（－）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	70.0（30.8）	70.0（31.3）	70.0（31.8）	70.0（32.2）	70.0（32.7）	70.0（33.2）
	実績	68.0（－）	67.7（－）	66.9（－）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
①アウトドア志向　②外国人観光客
③保養・休養（リラクゼーション）目的
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
①信越自然郷アクティビティセンター/観光案内所にてワンストップでの窓口対応。
②地域が持つ自然風土、豪雪、里山文化の価値を体験できるコンテンツ造成。
③食体験、アウトドアアクティビティ体験を通じて、心身のリラクゼーションに寄与する
【観光地域づくりのコンセプト】
『千年風土の豊穣の地』共通した風土と文化

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・広域的なサイクルツーリズム推進
E-bike導入及びレンタサイクル乗捨てサービス実施。エリア内14カ所
・米国BycycleAdventure自転車ツアー商品品造成等、海外エージェント誘致
・スキー場共通シーズン券「ナガノ6」企画販売及び事務局
・スキー場共通リフトクーポン「信越自然郷スーパーバリューチケット」販売

【情報発信・プロモーション】
・世界最大の自転車EXPO「EUROBIKE2024」へのPRブース出展。
・国内外の商談会、海外メディア誘致
・WEBサイト「信越自然郷」運営

【受入環境整備】
・飯山駅観光交流センター
（観光案内所/アクティビティセンター）
広域ワンストップ窓口施設の運営
・冬季 2次交通受付業務、現状調査